（様式２）

**令和４年度宇宙航空科学技術推進委託費**

**提案書**

|  |
| --- |
| 提案課題名○○○○○… |
| プログラム名○○○プログラム |
| 課題の概要○○○○○… |
| 実施期間令和４年１０月～○○年３月まで（予定） |
| 実施予定規模【直接経費】　初年度：○千円、総額○千円【間接経費】　初年度：○千円、総額○千円（直接経費×30％）【合　　計】　初年度：○千円、総額○千円 |

# Ⅰ．目的

|  |
| --- |
| **（概要）**○○○○○…本欄には、業務の全体構想及びその中での本業務の具体的な目的について、冒頭にその概要を10行程度で簡潔にまとめて記述した上で、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。１ページ以内で記載してください。１．業務の背景* 宇宙航空人材育成プログラムの場合：求められる（育成しようとする）人材像とそう考える根拠、応募者のこれまでの成果を踏まえた実施内容の立案経緯、これまでの人材育成を発展させる場合はその内容、国内外の動向　等
* 宇宙航空脱炭素技術等創出プログラムの場合：当該分野における本研究の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義、関連する国内・国外の研究動向及び位置付け（適宜文献等を引用）、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容　等
* 宇宙探査基盤技術高度化プログラムの場合：研究対象とする基盤技術の学術的な特色・独創的な点及び予想される結果と意義、関連する国内・国外の研究動向及び位置付け（適宜文献等を引用）、当該技術開発を担う人材育成への寄与、課題終了後の軌道上実証（ISSからの放出やロケット打上げの相乗り等の活用）への見通し、応募者のこれまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を発展させる場合にはその内容、等
* 「人文社会×宇宙」分野越境人材創造プログラムの場合：応募者のこれまでの成果を踏まえた経緯、これまでの人材育成を発展させる場合はその内容、国内外の動向　等
* 「AI・デジタル化×宇宙」技術革新人材育成プログラムの場合：応募者のこれまでの成果を踏まえた経緯、これまでの人材育成を発展させる場合はその内容、国内外の動向　等

２．業務の目標* 業務期間内に何をどこまで実施しようとするのか、具体的な目標を記載
* 業務期間終了後の計画や体制について、その見通しを記載（活動継続のための資金計画の数値化を含む本委託費以外のリソース獲得の見通し）
* 宇宙航空人材育成プログラム、「人文社会×宇宙」分野越境人材創造プログラム及び「AI・デジタル化×宇宙」技術革新人材育成プログラムの場合、事業開始10年後の実施機関の目指す姿を示すとともに、その実現のために本業務の3年間においてどこまで実施するのかを明記すること。

**（本文）**１．業務の背景○○○○○…２．業務の目標○○○○○… |

# Ⅱ．業務計画・方法

**（概要）**

○○○○○…

本欄には、目的を達成するための具体的な業務計画・方法について、冒頭にその概要を10行程度で簡潔にまとめて記述した上で、以下を踏まえて焦点を絞り、本業務で実施する範囲を明確にした上で、具体的かつ明確に記述してください。２ページ以内で記載してください。

１．業務計画・方法

各年度の計画を具体的に記述してください。

また、作成いただいた業務計画・方法と対応させた形で業務実施計画を線表で示してください。

宇宙航空人材育成プログラム、「人文社会×宇宙」分野越境人材創造プログラム、「AI・デジタル化×宇宙」技術革新人材育成プログラムについては、本業務を実施する中で、教育分野や人文・社会学分野、情報分野等と連携し、人材育成の成果を数値化する適切な手法を検討する計画・方法についても示してください。

**（本文）**

## １．業務計画・方法

### （１）令和4年度

○○○○○…

① ●●●●

a．プロジェクトの総合推進

b．・・・・に関わる技術開発

c．－－－－検討会の実施

② ■■■■

・・・・・に関わる研究開発

③ ▲▲▲▲

### （２）令和5年度

○○○○○…

① ◆◆◆◆

a．・・・・・

b．・・・・・

② ▼▼▼▼

・・・・・

### （３）令和6年度

○○○○○…

① ★★★★

a．・・・・・

b．・・・・・

② *◆◆◆◆*

・・・・・・

### （４）業務実施計画

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施項目 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 令和4年度 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ① ●●●● |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| a．プロジェクトの総合推進 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| b．・・・・に関わる技術開発 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| c．－－－－検討会の実施 |  |  |  |  |  |  |  | △ |  |  | △ |  |
| ② ■■■■ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・・・・・に関わる研究開発 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ③ ▲▲▲▲ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 令和5年度 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ① ◆◆◆◆ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| a．・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| b．・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ② ▼▼▼▼ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ・・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 令和6年度 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ① ★★★★ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| a．・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| b．・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

## ２．指標の設定

○○○○○…

### （１）令和4年度

○○○○○…

① ●●●●

a．プロジェクトの総合推進

～～を目指してプロジェクトを推進し、～の成果を得る。

b．・・・・に関わる技術開発

・・・・を開発し、精度○○％を達成する。～～の効率を従来より○○％向上する。

c．－－－－検討会の実施

－－－－検討会を～～回実施し、～～についての合意を得る。

② ■■■■

・・・・・に関わる研究開発

③ ▲▲▲▲

２．指標の設定

各年度において到達を目指す目標について、具体的な指標（可能な限り定量的な指標）及び目標値を設定してください。指標の設定にあたっては、１．目的で示した業務の目標を達成する上でその指標が妥当であることの根拠についてもあわせて示してください。本項目は、採択時の重要な評価項目であるとともに、事後評価における確認項目であり、可能な限り具体的に記載してください。

提案内容の成果を適切に測定可能なものであれば、特に指定はありませんが、以下に留意してください。

* 宇宙航空人材育成プログラム、「人文社会×宇宙」分野越境人材創造プログラム、「AI・デジタル化×宇宙」技術革新人材育成プログラムの場合：人材育成の成果の評価手法（例えば、育成対象の者の変容を測定し、課題全体の効果を測るなど）を記載してください。
* 宇宙探査基盤技術高度化プログラムの場合：人材育成の方法と評価指標（例えば、育成する人材数、学会等での発表数、研究会の開催数、アンケート結果など）を記載してください。

また、本事業における過去の採択課題採用している評価手法を参考としていただいても構いません。

＜参考例＞

文部科学省宇宙航空科学技術推進委託費　事後評価　結果

「有人宇宙活動のための総合科学教育プログラムの開発と実施」（国立大学法人京都大学）

<https://www.mext.go.jp/content/20200309-mxt_uchukai01_100000553_1.pdf>

### （２）令和5年度

○○○○○…

① ◆◆◆◆

a．・・・・・

b．・・・・・

② ▼▼▼▼

・・・・・

### （３）令和6年度

○○○○○…

① ★★★★

a．・・・・・

b．・・・・・

## ３．実施体制

### （１）業務実施期間・参画者等

○主管実施機関

機関名　○○○○　○○○

実施期間　令和４年１０月１日から令和○年○月○日

○共同参画機関（再委託先）

機関名　□□□□　□□□

実施期間　令和□年□月□日から令和□年□月□日

○共同参画機関（再委託先）

機関名　△△△△　△△△

実施期間　令和△年△月△日から令和△年△月△日

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 主管実施機関 |  |  |  |  |  |
| 研究代表者 |  |  |  |  |  |
|  | 氏名 | 所属部署名 | 役職名 | 電話番号 | メールアドレス | abc@xx.yy |
|  | （ふりがな）（漢字） | もんかたろう文科太郎 | ○○学部○○学科 | 教授 | 000-xxxx-xxxx |
| 事務連絡担当者 |  |  |  |  |  |
|  | 氏名 | 所属部署名 | 役職名 | 電話番号 | メールアドレス | abc@xx.yy |
|  | （ふりがな）（漢字） | ○○○○○○○○ | ○○部○○課 | 課長 | 000-xxxx-xxxx |
| 共同参画機関（再委託先） |  |  |  |  |  |
| 共同参画者 |  |  |  |  |  |
|  | 氏名 | 所属部署名 | 役職名 | 電話番号 | メールアドレス | abc@xx.yy |
|  | （ふりがな）（漢字） | □□□□□□□□ | □□学部□□学科 | 准教授 | 000-xxxx-xxxx |
| 事務連絡担当者 |  |  |  |  |  |
|  | 氏名 | 所属部署名 | 役職名 | 電話番号 | メールアドレス | abc@xx.yy |
|  | （ふりがな）（漢字） | □□□□□□□□ | □□部□□課 | 係長 | 000-xxxx-xxxx |
| 共同参画機関（再委託先） |  |  |  |  |  |
| 共同参画者 |  |  |  |  |  |
|  | 氏名 | 所属部署名 | 役職名 | 電話番号 | メールアドレス | abc@xx.yy |
|  | （ふりがな）（漢字） | △△△△△△△△ | △△学部△△学科 | 特任教授 | 000-xxxx-xxxx |
| 事務連絡担当者 |  |  |  |  |  |
|  | 氏名 | 所属部署名 | 役職名 | 電話番号 | メールアドレス | abc@xx.yy |
|  | （ふりがな）（漢字） | △△△△△△△△ | △△部△△課 | 係員 | 000-xxxx-xxxx |

### （２）業務項目別実施区分（業務実施場所および担当責任者）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 業務項目 | 実施場所 | 担当責任者※ |
| 令和4年度 |
| ① ●●●●a．プロジェクトの総合推進b．・・・・に関わる技術開発c．－－－－検討会の実施② ■■■■・・・・・に関わる研究開発③ ▲▲▲▲ | ○○県○○市○○町○丁目○○○○○大学○○センター□□県□□市□□町□丁目□□□□□大学□□研究所△△県△△市△△町△丁目△△△△△機構△△センター | ○○大学○○学部教授○○　○○□□大学□□学部教授□□　□□△△機構△△センター教授△△　△△ |
| 令和5年度 |
| ① ◆◆◆◆a．・・・・・b．・・・・・② ▼▼▼▼・・・・・ | ◇◇県◇◇市◇◇町◇丁目◇◇◇◇◇大学◇◇センター▽▽県▽▽市▽▽町▽丁目▽▽▽▽▽大学▽▽研究所 | ◇◇大学◇◇学部教授◇◇　◇◇▽▽大学▽▽学部教授▽▽　▽▽ |
| 令和6年度 |
| ① ★★★★a．・・・・・b．・・・・・② *◆◆◆◆*・・・・・・ | ☆☆県☆☆市☆☆町☆丁目☆☆☆☆☆大学☆☆センター*◇◇*県*◇◇*市*◇◇*町*◇*丁目*◇◇◇**◇◇*大学*◇◇*研究所 | ☆☆大学☆☆学部教授☆☆　☆☆*◇◇*大学*◇◇*学部教授*◇◇*　*◇◇* |

※各業務項目において、担当責任者を１名指定してください。

### （３）業務計画に対する実施体制・役割分担

○○○○○…

（３）実施体制

業務計画を遂行するための実施体制について具体的に示してください。複数機関により行う業務計画である場合は、研究代表者（主管実施機関）、共同参画者（共同参画機関）の具体的な役割、その実施体制の必要性・妥当性及び目的との関連性について記述してください。（図表を用いても結構です）

宇宙航空人材育成プログラムについては、本事業において採択実績のある機関が主管実施機関となる場合には、過去に採択された課題において主管実施機関もしくは共同参画機関となった実績の無い機関との連携体制が構築されていることがはっきりと分かるよう記載してください。（詳細は公募要領P7をご参照ください。）

また、再委託契約を締結せず、共同研究契約等により課題に参画し助言等を行う協力機関や、主管実施機関や共同参画機関の研究者等に対し助言等を行う協力者についても、体制に含めて記載してください。

### （４）研究組織（研究代表者及共同参画者）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名（年齢）研究者番号 | 所属研究機関部局職 | 現在の専門学位（最終学歴）役割分担 | 令和４年度経費（千円） | エフォート（％） |
| 研究代表者 |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |  |
| 共同参画者 |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |
|  |  |
| 計　00名 | 実施予定規模　合計 |  |  |

# Ⅲ．各年度別経費内訳

【総括表】 （単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大　項　目 | 委託費の額 | 合計 |
| 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
| 直接経費 |  |  |  |  |
| 物品費 |  |  |  |  |
| 人件費・謝金 |  |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 間接経費（直接経費×30%） |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |

【主管実施機関・共同参画機関（再委託先）】

主管実施機関：○○○○

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大　項　目 | 委託費の額 | 合計 |
| 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
| 直接経費 |  |  |  |  |
| 物品費 |  |  |  |  |
| 人件費・謝金 |  |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 間接経費（直接経費×30%） |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |

共同参画機関（再委託先）：□□□□

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大　項　目 | 委託費の額 | 合計 |
| 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
| 直接経費 |  |  |  |  |
| 物品費 |  |  |  |  |
| 人件費・謝金 |  |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 間接経費（直接経費×30%） |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |

共同参画機関（再委託先）：△△△△

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大　項　目 | 委託費の額 | 合計 |
| 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 |
| 直接経費 |  |  |  |  |
| 物品費 |  |  |  |  |
| 人件費・謝金 |  |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 間接経費（直接経費×30%） |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |

# Ⅳ．審査要項において求められている評価項目及び審査基準の妥当性の説明

審査要項において求められている評価項目ごとに、審査基準に対する妥当性を記述してください。

１．評価項目

1. 実施内容の妥当性

（共通項目：各プログラムに共通する評価項目）

* 1. プログラムの目的に合致した内容であるか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

* 1. 現状の課題が適切に把握され、それを解決するための課題設定、達成目標となっているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

* 1. 達成目標として、具体的な成果指標が適切に設定されているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

* 1. 裾野拡大に大きく寄与する効果があるか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

* 1. 社会的な効果（公益性、実用性、インパクト、人材養成の観点から若手研究者を積極的に参画させるなど社会基盤の整備への貢献）が大きなものか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

* 1. 「「国民との科学・技術対話」の推進について」（平成２２年６月１９日科学技術政策担当大臣、総合科学技術会議有識者議員）を踏まえ、実施内容・成果について、積極的に発信し、普及啓発を図る計画、体制となっているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

* 1. 事業終了後の継続性も見据えた計画（資金計画を含む）、体制となっているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

（個別項目１：宇宙航空人材育成プログラムのみの評価項目）

* 1. 育成する人材像が明確になっているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

* 1. 科学技術に関心のある大学院生、大学生、高等専門学校生等の学生（主に医理工系等）を主な対象とした実践的・専門的な内容になっているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

* 1. 実績のある機関（産業界等）等と幅広く、かつ積極的に連携するものであるか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

* 1. 本プログラムの目的をより確実に達成できるよう、これまでに蓄積された豊富なノウハウ・実績を発展させた内容になっているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

* 1. 事業終了後に成果を活用し人材育成を継続する計画が現実的であるか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

（個別項目２：宇宙航空脱炭素技術等創出プログラムのみの評価項目）

* + 1. 開発する技術解決課題に新規性または革新性、独創性があるか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

* + 1. 将来的なカーボンニュートラルの実現に向けた寄与、宇宙航空分野での脱炭素化についての高い効果が見込めるものであるか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

* + 1. 開発する技術を通じて脱炭素化を目指している対象分野や宇宙航空分野、カーボンニュートラルの取組において十分な実績のある機関・研究者等が参画する体制となっているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

* + 1. 開発する技術等が実用化につながるものであるかどうか。

|  |
| --- |
|  |

* + 1. 事業終了後から実用化までの道筋が飛躍なく明確に示されているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

（個別項目３：宇宙探査基盤技術高度化プログラムのみの評価項目）

1. 将来の宇宙探査分野（月探査活動等）において、国際技術動向に照らして、独創性、優位性のある技術となりえるか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 本事業での技術開発後に、さまざまなミッションに広く使われる汎用性や実運用性をもちうるか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 課題終了後に軌道上実証（ISSからの放出やロケット打上げの相乗り等の活用）の見通しが示されているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 開発する技術を利用したミッション構想など宇宙工学（シーズ）及び宇宙理学（ニーズ）が十分に連携し、双方の分野間の連携や融合に貢献するものであるか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 今後世界的に促進が見込まれる深宇宙探査など、将来の宇宙探査活動を支える人材育成の強化につながるものであるかどうか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

（個別項目４：「人文社会×宇宙」分野越境人材創造プログラムのみの評価項目）

1. 育成する人材像が明確になっているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 大学院生、大学生、高等専門学校生等の学生を対象とし、人文・社会科学系の学問領域において実践的・専門的な内容になっているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 産業界、研究機関、自治体等外部機関（特に海外）と幅広く、かつ積極的に連携するものであるか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 本プログラムの目的をより確実に達成できるよう、これまでに蓄積された豊富なノウハウ・実績を発展させた内容になっているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 宇宙関係の国際法・国際ビジネスルールの形成を主導する人材の育成を強化し、将来の宇宙分野における我が国のプレゼンスの強化に資する内容になっているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

（個別項目５：「AI・デジタル化×宇宙」技術革新人材育成プログラムのみの評価項目）

1. 育成する人材像が明確になっているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 大学院生、大学生、高等専門学校生等の学生を対象とし、情報系の学問領域において実践的・専門的な内容になっているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 産業界、研究機関、自治体等外部機関と幅広く、かつ積極的に連携するものであるか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 本プログラムの目的をより確実に達成できるよう、これまでに蓄積された豊富なノウハウ・実績を発展させた内容になっているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 宇宙開発におけるAI・デジタル化技術の活用を主導する人材の育成を強化し、将来の宇宙分野における我が国のプレゼンスの強化に資する内容になっているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 実施計画の妥当性
2. 全体達成目標に対する実施手法が適当であるか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 全体達成目標に対する実施計画、期間の設定が適当であるか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 全体達成目標に対する経費が適当であるか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 実施体制の妥当性
2. 研究代表者又は主管実施機関について、課題を着実に推進し、統一的な成果を取りまとめるための能力を有しているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 課題の実施に必要な人材、施設・設備等確保されているまたは、確保が可能な計画か。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. 実施予定規模に対して、経理に関する体制は十分な人数・能力を整えているか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する評価
2. ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する認定等又は内閣府男女共同参画局長の認定等相当確認を有していること

|  |
| --- |
| ・・・・ |

1. その他
2. 他制度からの補助金、助成金等を受けている場合、その研究開発との仕分けが明確であるか。また、既存の実施課題等との重複がないか。

|  |
| --- |
| ・・・・ |

# Ⅴ．研究費の応募・受入等の状況・エフォート

**研究者所属・氏名：**

１．受入予定の研究費（採択状況）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和4年度の研究経費(期間全体の額)(千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 |
|  |  |  | （　　　） |  | （総額　　　千円） |
|  |  |  | （　　　） |  | （総額　　　千円） |

２．応募中の研究費（応募状況）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究課題名（研究代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和4年度の研究経費(期間全体の額)(千円) | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由 |
| 【本提案課題】○○（令和4年度～令和〇年度） |  | 代表 | 　（　　　） | 　 | －（総額　　　千円） |
|  |  |  | （　　　） |  | （総額　　　千円） |

３．その他の活動　　　エフォート：　　　％

本応募課題の研究代表者、主管実施機関及び共同参画機関（再委託先）から本課題に参画する者の**応募時点における**、１．受入予定の研究費（人材育成関連も含む）、２．応募中の研究費（人材育成関連も含む）、３．その他の活動（経常的研究等を含む）について記入してください。複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。

「応募中の研究費（応募状況）」欄の先頭には、本提案課題を記入してください。

「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を１００％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記入してください。

# Ⅵ．これまでに受けた研究費とその成果、研究業績等

|  |
| --- |
| １．これまでに受けた主な研究費（人材育成プログラムの場合、人材育成関連費用を含む）とその成果本欄には、研究代表者、主管実施機関及び共同参画機関（再委託先）から本課題に参画する者がこれまでに受けた研究費（所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを最大３件程度まで選定し、次の点に留意し記述してください。①　それぞれの研究費毎に、資金制度名、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果を簡潔に記述してください（例）資金制度名：期間（年度）：　　年度～　　年度研究課題名：研究代表者又は研究分担者の別：研究経費（直接経費）：　　千円研究成果及び中間・事後評価結果：２．研究業績（人材育成プログラムの場合、人材育成関連費用を含む）とその成果本欄には、研究代表者、主管実施機関及び共同参画機関（再委託先）から本課題に参画する者がこれまでに発表した論文、学会発表、著書、産業財産権、招待講演のうち、本業務に関連する重要なものをresearchmap等からコピーする等の方法で記入してください。１．とあわせて３ページ以内で記載してください。なお、論文については学術誌に掲載済みもしくは掲載が決定されたものに限ります。①　例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。②　以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略しても可。 |

# Ⅷ．その他（確認事項）

１．知的財産権の帰属について

① 研究課題の実施により得られる知的財産権の帰属について

|  |
| --- |
| ・・・・ |

② 知的財産権の帰属に係る参画者間の取り決めについて

|  |
| --- |
| ・・・・ |

２．本事業にて作成する著作物の有無について

文部科学省との契約により提出を求める委託業務成果報告書以外で、本事業により作成し、文部科学省に納入を予定する著作物の有無

□有　　　　□無

【著作物が有の場合以下を記載】

（名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　数量：　　　　　　　　　　　）

３．主管実施機関及び共同参画機関の体制整備等自己評価チェックリストの提出状況

□ａ． すべての機関が令和４年４月１日以降に、令和４年度版チェックリストを提出している

□ｂ． ａには該当しないが、すべての機関が令和３年度版チェックリストを提出済みであり、令和４年１２月１日までに令和４年度版チェックリストを提出する予定

□ｃ． ａ、ｂのいずれにも該当しないが、令和４年９月１日までに令和４年度版チェックリストを提出する予定

４．主管実施機関及び共同参画機関の研究不正行為チェックリストの提出状況

□ａ． すべての機関が令和４年４月１日以降に、令和４年度版チェックリストを提出している

□ｂ． ａには該当しないが、ａには該当しないが、すべての機関が令和３年度版チェックリストを提出しており、令和４年９月３０日までに令和４年度版チェックリストを提出する予定

□ｃ． ａ、ｂのいずれにも該当しないが、令和４年９月１日までに令和４年度版チェックリストを提出する予定